

家庭学習に取り組むために（保護者の方へ）

子どもたちの学力向上には、学校での学習だけではなく、家庭学習の時間がとても大切です。針尾小学校では、今年度、下の3つを全校共通の取組として進めていきます。

- ①宿題に取り組む。（音読・計算・漢字など）
- ②プラスワン学習に取り組む。（読書や自学など）
- ③家庭学習チェックカードにおうちの方がサインか捺印をする。

学力を向上させるためには、子どもたち一人一人の努力とご家庭の支えは欠かすことができません。本年度、子どもたちに配付した「針尾っ子家庭学習チェックカード」には、「家庭学習の手引き」を貼って、基本的な家庭学習の取り組み方を示しています。お子様のこれからの学習への取組が継続するように、ご家庭でのサポートをお願いします。

～家庭学習をサポートするポイント～



「整える」…学習する環境を整える。

- テレビを消し、机の上や周りを整理・整頓、「さあやるぞ」という気持ちで取り組めるようにする。
- 始める時間を決めておく。（平日・その他）
- 習い事や家庭の事情がある場合は、前もって話し合い、時間の使い方を助言し、決めておく。

① 『基礎・基本の力』…音読

② 『復習の力』…宿題（漢字・計算の繰り返し練習）

③ 『自ら学ぶ力』…プラスワン学習 自学、読書 等

④ 『続ける力』…1・2・3を繰り返す力

⑤ 『準備する力』…時間割を揃える 鉛筆を研ぐ 筆箱の中を整える 連絡を伝える
持ち物の確認 名札 ハンカチ・ティッシュ 帽子 提出物を準備する

「見届ける」…その日のうちに保護者が確認する

プリントやカード、ノートの隅の保護者の方のサインや印が毎日ついているご家庭があります。このほんの少しのコミュニケーションが子どもたちの励みになります。そして、確認はとても重要です。ご協力をお願いします。

「ほめる」、「認める」…声かけを行う

「昨日よりすらすらと読めたね」、「この字が上手になったね」、「計算が速くなったね」などのひと言が子どもたちのやる気を引き出します。がんばったことを褒め、さらに具体的に認めることが大切です。その上で、「これ書き直そう」、「正確に書こう」と促し、正しくやり遂げる力を育みます。

「広げる」…さらに高め、継続させる

「この字は他にこう読むんだよ」、「これはこんなところに使われているね」、「昔はこうだったよ」と興味を広げてあげると子どもたちの目は「もっと知りたい」と輝きます。生活の中のひと言こそが学ぶ環境になり、生きた学力になります。